

対象事業		補完的な道路の整備			
区分	評価項目	評価区分	配点	備考	
必要性 配点30点	計画交通量	A 計画交通量4,000台/日以上	4	評価A 23点以上	
		B 計画交通量1,500台/日以上4,000台/日未満	2		
		C 計画交通量1,500台/日未満	0		
	代替道路	A 唯一の道路である(迂回路はあるが30分以上の迂回を伴う)	5	評価B 15~22点	
		B 代替となる道路がある	0		
	ネットワーク (道路網)	A バス路線である	5	評価C 14点以下	
		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	3		
		C A及びBに該当しない	0		
A ボトルネック箇所		4			
	B ボトルネック箇所でない	0			
	A 観光地に通じる道路(来客数5万人以上/年)	2			
	B 観光地に通じる道路ではない	0			
各事業特有の必要性 (安全の確保)	すれちがいがしやすく、急カーブ、急勾配を緩和				
	A 4.0m未満 又は 30m未満 又は 8%以上	6			
	B 4.0m以上 5.5m未満	4			
	C 5.5m以上	0			
	A 自動車と自転車・歩行者との分離を図る	4			
	B 歩道はあるが不十分であるものを再整備	2			
	C 自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	0			
他事業との関連	A 河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施	(10)			
重要性 配点10点	設計上の環境・景観配慮	A 環境・景観配慮がされ確実性が高い	5	評価A 8点以上 評価B 7~5点 評価C 4点以下	
		B 環境・景観配慮がされているが確実性が低い	3		
		C 環境・景観配慮をしていない	0		
地域の法的な 位置付け	A 緊急輸送路(1次)に位置付けられている	5	評価C 4点以下		
	B 緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	3			
	C 特別な位置づけはない	0			
効率性 配点20点	費用対効果	A B/C(3便益)1.0以上	5	評価A 12点以上 評価B 8~11点 評価C 7点以下	
		B B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	3		
		C B/C(3便益)1.0未満	0		
	事業効果の早期発現 (H25以降残事業年数)	A 事業年数 3年以内	8		
		B 事業年数 4年~5年以内	5		
	C 事業年数 6年以上	0			
コスト縮減	A 全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	7	7点以下		
	B 部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	5			
	C コスト縮減を実施していない。	0			
緊急性 配点20点	安全性の向上	A 交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	10	評価A 15点以上 評価B 10~14点	
		B 交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	6		
		C 交通事故や落石等の危険がない	0		
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	A 医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	10	評価C 9点以下	
B 医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		6			
C 医療・福祉の連携に関係ない道路		0			
(新規) 計画の熟度 配点20点	地域からの要望	A 地域住民の内発的な要望が強い	7	評価A 15点以上 評価B 10~14点 評価C 9点以下	
		B 市町村等からの要望	5		
		C 特に要望がない	0		
	事業情報の共有	A 関係者以外に広く周知	7		
		B 関係者中心に周知	5		
		C 特に周知していない	0		
住民参加の状況	A 住民が計画策定に直接参加	6			
	B 住民や市町村の意見を計画策定	4			
	C 特に住民意見は反映していない	0			
合計(100)点				総合評価 A 75以上 B 74~50 C 49以下	